

今年の耐震化アドバイザー養成講座が終了

今年度の耐震化アドバイザー養成講座が12月9日に終了しました。本講座では、耐震化アドバイザーも最新の耐震化技術を身に付けて、所有者の方からの相談に対し柔軟に対応できるようにするということについて、ここ数年取り組んでいます。

今年度は、昨年度引き続きグループワークによる耐震改修設計に取り組みました。各グループは、主催者の課題設定の通り、耐震改修がなかなか進まない現状を分析し、所有者に対してどんな耐震改修案を提示すると良いのかについて、講座中のグループ討議と自宅での作業やメールなどでやり取りを進め改修案の検討を重ねたうえで最終日に臨みました。今回は最終的に3グループとなってしまいましたが、どのグループも、耐震改修が進みにくい要因を分析し、工事費を安価にする工夫、居住者が住みながら工事を進めるための配慮、脳梗塞の後遺症の残る所有者に配慮したリフォームの提案、所有者の子供たちが納得するための配慮、説明の進め方に対する工夫など、各グループの討議内容を反映したとても素晴らしい改修案が作成されました。また、いずれの案も講義内容を反映した最新の耐震化技術を駆使した案になっていました。

その中でも、耐震改修の阻害要因として①所有者の経済的問題、②工事に関するわずらわしさなどの問題、③相談者に関する問題、④家族間の問題などを掲げ、その解決策として①安価な耐震改修技術の活用・リフォーム融資や介護保険の活用、②工事中の居場所の確保、③改修に対する不安や不明点の解消、④子供も含めた家族全体の意識のすり合わせをお手伝いすることなどを整理し、改修案としても、将来的な所有者の車いす生活に備えたリフォームの提案と、大きな金物を使用しないための補強壁の配置など工夫など、配慮の行き届いたものとなっていたこと、かつ、耐震化アドバイザーとしての重要な要素である説明のわかりやすさについても優れていたBグループが最優秀賞となりました。

最優秀賞（Bグループ）



左より 吉田 敦氏 相木 宣浩氏 佐藤 泰久氏

最終日の参加者関係者の全体写真

